



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 村 上 泰 啓
幹 事 小 原 一 眞 会 報 委 員 長 泉 浩 一



Rotary Opens Opportunities
ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021年度国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2478

2021-2-26

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
https://osakajonan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会) 2月26日(第4例会)

- 例会場
リモート(Zoom)
シェラトン都ホテル大阪 5階 カトレアの間
- 卓話 「税務調査あれこれ」
梅崎道夫会員
- 次年度理事会 13:30~14:00
シェラトン都ホテル大阪 5階 カトレアの間

次週のお知らせ) 3月5日(第1例会)

- 例会場
リモート(Zoom)
シェラトン都ホテル大阪 5階 カトレアの間
緊急事態宣言解除の場合、
通常例会に変更する可能性があります。
- 卓話 「大阪城南ロータリークラブの当面の課題について」
小林正啓会員
(プログラム委員会担当)

次々週のお知らせ) 3月12日(第2例会)

- 例会場
リモート(Zoom)
シェラトン都ホテル大阪 5階 カトレアの間
緊急事態宣言解除の場合、
通常例会に変更する可能性があります。
- 卓話 「プログラムの変更と外部卓話者の紹介」
浅井 晃プログラム委員長
(プログラム委員会担当)

先週の記事) 2月19日(第3例会 Zoom)

- 出席報告
出席会員 27名 (内免除会員 5名)
会員総数 44名 (同上 12名)
ゲスト 0名
ビジター 0名
計 27名
ホームクラブ出席率72.97%
11月27日(第4例会)補正出席率100%(MU5名)

◆会長の時間◆

2月16日(火)、第4回六輪会(IM6組 会長、幹事会)がZOOMにより行われました。会議は第1部、第2部の構成でした。第1部は簡ガバナーご挨拶の後、各クラブの中間報告が行われました。各クラブはコロナ対応で色々ご苦労をされていることを報告されました。IM6組11クラブの内WEB例会を行っているクラブ、WEB理事会のみ行っているクラブ、休会を続けているクラブがあり、大阪城南ロータリークラブは2月12日(金)からWEB例会を始めていますと報告出来ましたので、良かったと思います。会員の皆様のご協力のお陰です。WEB例会を開いていないクラブは今後「早速WEB会議を開きたい」、「持ち帰って検討したい」、「緊急事態宣言解除を待って例会をする」の三様でした。第2部は「COVID-19に対する奉仕活動の研究」が議題でした。今2660地区で色々な行事の取りやめが続いています。その中でIMロータリーデー(5月29日予定)を「WEBライブオンライン配信」を用いて開きたいとの地区の提案がありました。IM6組の催しは決まっています、ロボット工学の第一人者の大阪大学石黒教授の基調講演があります。良いプロジェクトだと思いました。詳しくは後日パンフが送られてきますが、多くの皆様のご参加をお願いしたいと思います。

◆年次総会◆

議事進行の要領 2月19日(金)

幹事: 只今より、2020-2021年度 大阪城南ロータリークラブ年次総会を開催致します。クラブ細則第1条第1節の規定に基づき次々年度会長及び次年度理事の選挙を行います。

尚、本日はハイブリッドによる総会です。リアル、リモート、の会員の出席者と委任状を頂いた会員の合計は、会員44名中29名でした。従いまして、クラブ細則第4条4節の規定する定足数、会員総数の3分の1を満たしておりますので、本総会は適法に成立していることをご報告致します。

会長: これより次々年度会長及び次年度理事の選挙に移ります。

指名委員会の候補者は

次々年度会長 三宅善太郎会員

次年度理事 小林正啓会員、岡部泰鑑会員、内藤喬皓会員、松田振興会員、宮田正人会員、濱田由弘会員、山本智重会員の方々です。

通常ですと、投票の代わりに賛成の方々のご起立をお願いするところですが、本日ハイブリッドによる総会の為、

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

リモートの方の起立の確認ができません。そこでご異議のある方がおられましたら、お申し出ください。反対の方がおられませんので、指名委員会選考の候補者が当選となりました。ありがとうございました。

◆ 幹事報告 ◆

上半期例会が休会になった3回分(4回休会でしたが、その内1回は年末家族会)の食事代、合計¥12,000を下半期の会費から差し引かせて頂きます。

卓話

2月19日〈第3例会 Zoom〉

「新型コロナウイルスワクチン」

浅井 晃プログラム委員長
(プログラム委員会担当)



ワクチンの話に入る前に、今回のコロナウイルスの構造について少し説明をします。もうTVなどの映像でお馴染みになりましたが、このウイルスは球形で表面にスパイク(棘)を持っているのが特徴です。実はこのスパイクは感染

が成立する際に大変重要な役割を果たしています。肺の細胞表面に存在するリセプター蛋白と、このスパイクが結合することによって、ウイルスは細胞内に侵入し感染が成立します。このスパイク蛋白を作る遺伝子情報を持つmRNAを合成し、エチレングリコールでパックしたものが今回のワクチンです。ワクチン接種により注射されて体内に入ったmRNAの情報をもとにして、ヒトの細胞内にあるリボゾームという細胞小器官においてウイルスのスパイク蛋白が作られます。この蛋白質は、元来人体には存在しない異種蛋白ですので、免疫機能が働いて抗体を作る反応が起こります。血液中に存在する抗体によって、ウイルス表面のスパイク蛋白の機能が失われ、人の細胞に侵入できなくなるのです。因みにmRNAは速やかに代謝され消滅します。

第一弾のワクチンが到着し、接種が開始されました。今後の接種スケジュールも公表されています。皆さんにワクチン接種の通知が役所から届くのも間もなくです。

このようなワクチンを作ることが可能になった背景には、現代医学においてウイルスの設計図とも言うべき遺伝子情報が完全に解読されているという事実があります。このワクチンは遺伝子解析という最先端医療技術の賜物なのです。

今回のように極めて短い期間に地球上の人類を脅かしたウイルスに対して、これまた極めて短期間のうちに免疫を獲得させる試みは人類史上初めてであり、用いられるワクチンも最先端医療技術の粋として作成される人類史上初めてのワクチンです。現在の人類が今回の未曾有の危機を解決しようとした時に発する圧倒的な英知とパワーを感じます。

「このワクチンは接種した方が良いか?」との質問をよく受けます。答えは、YESです。複雑多様化した現代社会に於いて人との接触を完全に断ち切る事は困難ですので、感染症というボタンを受け取らない受け渡さない為には、ワクチンは必須アイテムです。

「副作用はどうか?」これも必ず受ける質問です。注射局所の疼痛と全身倦怠等の副反応とアナフィラキシーが

あります。日本国内のデータはありませんが、外国での報告では残念ながらインフルエンザワクチンより頻度は多いようです。しかしいずれも直後の一過性のもので後遺症として残るものではなく、生命的な危険は重症のアナフィラキシー以外には報告がありません。アレルギー体質の人は注意が必要ですが、直ぐに適切な対応処置を施せば大丈夫です。

「接種はどこで受けるのか?」これも必ず受ける質問です。当初は集団接種が想定されていました。しかし、シミュレーションをしてみると、かかりつけ医などでの個別接種の方が効率の良い事が判明し、菅総理大臣から医師会に要請があったとの報道もありました。また職場等の事業所単位での接種も検討されているとのニュースもあり、個別接種の方向も自治体毎に検討されているようです。



▲例会会場内



▲例会会場内



▲例会会場内



▲例会会場内



▲例会会場内

にここ箱

2月19日(第3例会 対面とZoomによるハイブリッド例会)

●本日は卓話を致します。よろしくお願ひ致します。

浅井会員

●本日は2回目のハイブリッド例会です。六輪会で「WEB例会を実施しています」と発表出来ました。IT推進委員会の皆様、ありがとうございました。

村上(泰)会員

(編集担当 泉・野村)

会員増強にご協力を!!